

鉄の星フェスティバル

大盛況に終わった鉄の祭典

■ オープニングセレモニー

オープニングセレモニーでは(社)日本鉄鋼連盟会長の宗岡正二(新日鉄代表取締役社長)が「日本の経済発展を支えてきた鉄鋼業だが、一般の人になじみが薄い。鉄の魅力を体感してもらうイベントにしたい」と挨拶。来賓の経済産業大臣政務官の萩原健司氏からは、甘利明経済産業大臣の祝辞が代読された。続いて広報大使

を務める石井竜也氏は、「今ここから鉄がなくなったらと想像してみてください。鉄がなければ文明は前に進まない。日本の鉄鋼業にはエコロジーも両立した世界に誇るべき技術があ

ります」と述べ、同じく広報大使を務める米村でんじろう氏は、「子どもも大人も楽しめるショーを提供し、ものづくりの夢を伝えていきたい」と意気込みを語った。



挨拶する宗岡鉄鋼連盟会長



イベントオープニング

■ 鉄と人の風景フォト&絵画コンテスト表彰式

2008年3月から6月にかけて募集した「鉄と人の風景フォト&絵画コンテスト」には合計1万5,000作品の応募があり、その中から、それぞれグランプリ、準グランプリ、審査員特別賞(石

井竜也賞、米村でんじろう賞)に選ばれた受賞者の表彰式が行われた。受賞者たちは一様に「このような賞に選ばれてうれしい」と顔をほころばせた。



審査員特別賞として、石井竜也氏から賞状を贈呈

■ 好奇心を刺激するさまざまなコーナー

会場では鉄への理解を深めていただくため、さまざまな展示や実験教室が開催され、多くの人でにぎわった。



鉄の不思議教室



イノベティブスティール展



「刀研ぎ」コーナー
本職の刀研師による実演の様子



「リアモーターカー」体験

7月26～27日に（社）日本鉄鋼連盟による近代製鉄発祥150周年記念事業のメインイベント「鉄の星フェスティバル」が六本木ヒルズアリーナで開催された。鉄と人との関わりや鉄の魅力をさまざまな角度から体験していただくため、記念事業の広報大使である石井竜也氏が作詞作曲を手がけたイメージソングの発表や、米村でんじろう氏のサイエンスショーをはじめ、好奇心を刺激するさまざまなコーナーが設けられた。本イベントには、2日間で家族連れなど合計約2万3,000人が訪れ、大盛況のうちに幕を閉じた。

鉄のシンボルキャラクター「AIRA」



鉄の広報大使によるステージで盛り上がりは最高潮に

鉄の広報大使であるアーティストの石井竜也氏は、イメージキャラクターのAIRAに込めた思いを説明した後、鉄鋼イメージソング発表ライブとして『アイラの大地』を披露。ライブステージは大いに盛り上がった。続いて、特別ゲストとしてテレビで科学番組にも出演している安めぐみさんが登場し、イベントに花を添えた。

そして、鉄の広報大使・米村でんじろう氏による鉄のサイエンスショーでは、子どもも大人も米村氏の創造的な実験に夢中になり、科学の不思議、鉄の不思議を楽しんだ。



石井竜也氏による鉄鋼イメージソング発表スペシャルライブ



安めぐみさんがゲスト出演



米村でんじろう氏による鉄のサイエンスショー



〈近代製鉄発祥 150 周年記念事業イメージソング『アイラの大地』（石井竜也氏 作詞・作曲）〉
パソコン・携帯電話からダウンロードできます。
10月22日にはCDが発売予定です。

パソコン

<http://www.sonymusic.co.jp/Music/Arch/SR/Tatsuyaishii/>

携帯

下記URLまたは右のQRコードをご利用ください。
<http://www.sonymusic.co.jp/i/Arch/Tatuyaishii/>



北九州イノベーションギャラリーが企画展「鉄が拓いた技術」を開催

北九州イノベーションギャラリー（福岡県北九州市）では、近代製鉄発祥150周年記念事業の連携イベントとして、企画展「鉄が拓いた技術 時代のニーズを先取りした『鉄』のイノベーション」（9月27日～12月7日）を開催する。

本企画展では、1901年溶鉱炉の稼働から官営製鉄所として日本の近代製鉄をリードしてきた八幡製鉄所の高炉や転炉、連続铸造、連続焼鈍（C.A.P.L）など製鉄プロセ

スを約13分の1スケールで再現した原理構造模型で解説。さらに各時代のニーズとイノベーションストーリーを交えて紹介する。

また、戦後の八幡の懐かしい風景や現代に息づくイノベティブスティールの紹介、「鉄のあそび」体験コーナーなど“鉄”をより身近に感じることができる。

詳しくはHPをご覧ください

<http://www.kigs.jp/>

